

- ちょっと小金原 #23 -

子ども達を育む地域の力

松戸市立貝の花小学校 校長

かじま みえこ
梶間 美江子

正門での登校指導、そして子どもを引率している時に地域の皆様が気軽に声をかけて下さいます。そのさりげない一言から、いつも皆様の心の温かさが伝わり本当に嬉しく思います。

「おやじの会」をはじめ小金原地域の皆様には、登下校時の安全確保のみならず、放課後や休みの日にもしっかりと子ども達を見守っていただいていることに対し深く感謝するとともに本校全職員、厚く信頼申し上げております。夏休み中も地域のお祭りやラジオ体操等で多くの子ども達がお世話になりました。ラジオ体操の時に一緒に盆踊りの指導をなさったり、趣向を凝らしたお祭りの様子を拝見する中で各会場で出会う子ども達の笑顔を見て、つくづく小金原地域の子ども達は幸せだなと感じました。

秋には、福祉フェア小金原ふれあい広場があります。私も今年は評議委員として微力ながら、がんばらせていただきます。

本校では、子ども達に家族・地域でお世話になる方に、自分から進んで挨拶することを奨励しています。自分では大切だと分かっているけれども、実行しなければ相手には伝わらないことを、挨拶を通して気づいて欲しいと考えています。子ども達を見かけましたら、挨拶に加えて気軽に声をかけていただき、よいことはおおいに褒め、危ないことやいけないことは、その場で教えていただけると助かります。これからもご支援宜しくお願い致します。